

東広島市・広島大学教育ビジョン研究センター連携
「広域交流型オンライン 総合・特活型」2024年 6月実施計画

1. 目的

広島大学教育ビジョン研究センターと東広島市教育委員会の連携によって外国人の増加する東広島市の多文化共生の視点から見たふるさと学習，地域学習を通して，児童の主体的，対話的で深い学びを創造する。

2. 実施内容

- 市内の小学校，学習対象となる地域・施設と広島大学がオンラインでつながって，遠隔授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は，大学の担当者（T1）が行う。各教室での指導は，各学級の担任等（T2）が行う。
- 参加校には大学より学生サポートスタッフ（T3）を派遣し，環境設営，授業運営支援，教師・児童のICTの活用支援等を行う。
- 遠隔授業では，児童が自分のタブレットから参加できる機会を設ける。

3. 授業の日時および参加予定校

- 2024年6月19日（水）3時間目：10：25～11：10，4時間目：11：15～12：00
- 造賀小6年生（9名）、三津小5年生（18名）、三津小6年生（14名）

4. 単元名および目標

- 単元名 「ことばと学級づくり・地域づくり～やさしい日本語の「やさしさ」とは？～」
- オンライン地域学習の単元目標

A ことばの見方・考え方

日常生活における人との関わりの中で使う「ことば」の使い方に対する認識を深め、伝え合う力を高める。

【国語科との関連】

メモを取りながら話を聞こう（3年）、段落同士のまとまりを考えて書く、表し方のくふうを考えよう（4年）、知りたいことを聞きだそう、環境問題について報告しよう、書き手の意図を考えよう（5年）、意見を聞いて考えよう（6年）など

B ふるさと東広島

自分たちの住むふるさと「東広島」には、多くの外国人市民が住んでおり、様々な言語や文化をもつ人たちとともに生活していることに気付かせる。【社会科における地域学習や総合的な学習の時間におけるふるさと学習と関連】

- ・赤色：タブレットの活用場面
- ・黄色：個別学級の活動場面
- ・緑色：学級間の交流場面
- ・青色：中継場面
- ・PCの基本操作：手を挙げるボタンを押す→発表時のミュート解除→マイクに向かってはっきり大きく話す
- ・発表の基本過程：教師と児童でやりとり→発表者を決める→カメラ前でスタンバイ→同じ答えが出たら戻らせる

C 多様な人とのコミュニケーション

世界には自分とは異なる言語や文化の中で生活している人がいることを理解し、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【外国語活動や外国語科、道徳等との関連】

外国語で聞いたり話したりする（3・4年）、外国語でのコミュニケーション（5・6年）、世界の人々とつながるために（5年道徳）、世界の人々と生きる（6年道徳）、日本とつながりの深い国々（6年社会）など。

○ 本時の目標

- ・1/2時：市役所や保育園などでは、相手に応じて「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションをしていることに気付くことができる。
- ・2/2時：私たちは、なぜ、「やさしい日本語」を使うのか、東広島市に生活している人の文化的・言語的多様性の視点から考えることができる。

5. 授業展開

T1(南浦・草原)の動き	予想される児童の反応	T2(学級担任)の動き	ホスト, 中継先, T3(補助者)の動き
<p><導入:保育園の先生, どう話す?> Q1. みなさんは、小さい子どもたちに話をするとき、どんな話し方をするかな？ 保育園の先生はどう話していたかな？ (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園では先生はどんな話し方をしているか、見てみよう。 ・どんな話し方をしている？大人同士と比べてもう一度考えよう ・わかったことを交換しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり話している。 ・大事なことを確認しながら、繰り返している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童端末をネット接続させる。 ・ディスプレイの音声を調整する ・最初造賀小の子どもに南浦が話を聞きながら「三津小のほうはどうですか？」と振ります。話したい児童はカメラの前にきてください ・ワークシートの①にメモをさせても良い ・感想や質問がある児童はカメラの前へ。(T1が適宜取り上げます) 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶→電源・音声・カメラテストを実施 ・OP動画の再生(開始12分前) ・資料提示を支援, 視認のチェック ・音声/映像状態をチェック ●【動画①】あいگران保育園の保育士が園児に話しているシーンの録画を流す。 ●【動画②】子どもたちに向けて話しているシーンを先に見せ、保育士とお父さんと話しているシーンを見せて比べられるようにする ・指名された学級をスポットライト

<p>〈展開1:ほかにもある「やさしい話し方」どんなところで使われている?〉</p> <p>Q2. 保育園の先生のように「やさしい話し方」が使われているところは、他にはどんなところがあるだろう。(15分)</p> <p>(1)市役所だとどうかな? 大人の人に対してどんな話し方をしているかな?</p> <p>(2)市役所のこの場面はどうだろう? これは誰に話しているのかな? 子どもかな? 大人かな?</p> <p>誰と話しているのか、カメラを引いて見てみましょう。</p> <p>(3)日本語でがんばって話すのは難しい? 英語のほうがいいんじゃないかな?</p> <p>・のん太アンケート①「外国の人に話すなら、英語のほうがいい? 日本語のほうがいい?」</p> <p>・アンケートの結果を示しながら、めあてにつなげる</p>	<p>・早い!</p> <p>・すごく敬語を使ったりしている。</p> <p>・市役所だから子どもは用事がないんじゃないかな?</p> <p>・市役所はお年寄りに使っているかな。</p> <p>・外国の人と話すのに英語を使わずに日本語にしている。</p> <p>・英語, 日本語, アンケートに選んでもらう</p>	<p>・ワークシートの②にメモをさせても良い</p> <p>・アンケートへの入力を T3 とともに支援する。</p>	<p>●【動画③】市役所市民生活課の日本人同士の会話シーンの録画を流す。</p> <p>●【動画④】外国人住民に話しているシーンの録画を流す。</p> <p>・音声/映像状態のチェック</p> <p>●【動画⑤】外国人住民に話していることを動画で見せる。</p>
<p>【先生からの挑戦状!(草原先生から)→本日のめあて】 外国の人と「日本語」で話しているのはどうしてだろう? そこではどんなくふうをしているのだろう?</p> <p>・スライドでめあてを見せる</p> <p>・めあてを全員で読ませる</p> <p>・ T 2 はめあてを黒板に書く</p>			

〈展開 2:「やさしい日本語」の意義と
観点を知る〉

Q3. どうして外国の人にも日本語で
話しているの? 考えを話しあお
う。(20分)

(1) 資料1を見て考えましょう

- ・時間は4分です。

(2) 資料2を見てもう一度考えま
しょう。

- ・わかったことを交換しましょう

(3) 市役所の人にわけを聞いてみよ
う。

- ・よくわからないな～

- ・英語を話せる人は多い。
- ・日本語を少し話せる人もとても多い。
- ・いろいろな外国人がいて、「英語」を話せる人ばかりがたくさんいるわけではない。
- ・よく考えたら、日本人の人がこれだけのいろいろな外国語を使える人も少ないのかもしれない。

・

【資料1】東広島に住む外国の人は
どのような人がいるのかをもとに
クラスの中で話し、予想させる。

- ・資料1を黒板にも貼る(子どもた
ちに資料1を配布)・

- ・子どもの意見を黒板にまとめる

【資料2】東広島に住む外国の人は
どんな言葉の話せるのかのグラフ
をもとに、クラスの中で話し、予
想させる。

- ・資料2を黒板にも貼る(子どもた
ちに資料2を配布)

- ・考えたことを発表させる

- ・子どもの意見を黒板にまとめる

- ・クラス毎に意見をマイクで交換

・
マイク・映像のチェック

●【中継①】市役所から中継。

- ・英語が話せる人は3割
- ・実際に日本語を伝えることが多い。
- ・でも、「くふう」はある。

【まとめ①(草原先生から)】 外国の人と話すというと「英語」が浮かぶけど、実は東広島の中で日本の人と外国の人がコミュニケーションするときが一番の共通語は「日本語」なんだね。

-----ここで5分休憩-----

<p>Q4. 市役所の人、どんな話し方の工夫をしているのだろう。(15分)</p> <p>(1) 市役所の若村さんは「日本語で話すけれど工夫をしている」といったけど、話し方にはどんなくふうがあったかな？ もう一度動画を見て、考えましょう。</p> <p>(2) 市役所の人に聞いてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身振り手振りを使っている ・保育園の先生よりもはっきり話している ・表情が優しい、相手を確認して話す ・ですますをつける <p>・私たちが見つけたような話し方のくふうを「やさしい日本語」というんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級で5分話しあう。 ・子どもたちから出た意見を黒板にまとめる。 ・各クラスの見解を交流させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【動画④】をもう一度再生 ・マイク・映像のチェック ●【中継②】市役所の人から中継 ・はっきり話す。ですますをつかう。短く話す。など。 ・こういう工夫を私たちは「やさしい日本語」と言っています。
<p>【まとめ②(南浦先生から)】少し日本語が使える外国の人なら「日本語をやさしくする『やさしい日本語』」の考え方も大切なんだね</p>			
<p><展開2:「やさしい日本語」の「やさしさ」の意味を考える></p> <p>Q5. やさしい日本語は、他に東広島のどこで使われているだろう？(25分)</p> <p>(1) 仕事をしている人たちを見てみましょう。ベトナムから来た人と社長さんが話をしています。</p> <p>(2) この会社では外国の人との話し方は「やさしい日本語」？</p> <p>(3) 森尾水産の社長さんの話し方は「やさしい」のか「やさしくない」のか、どっちなのかな？</p> <p>・のん太アンケート②「社長さんの話し方は「やさしい」？「やさしくない」？)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すごい短かったし、ちょっと冷たい感じがした ・ぶっきらぼうな感じがした 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートへの入力を T3 とともに支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【動画⑥】森尾水産さんの録画 ・音声/映像状態をチェック

<p>(4)森尾水産さんはどういう気持ちで話しているのか、インタビューを聞いてみましょう。</p> <p>(5)あらためて考えて見ましょう。森尾水産の社長さんの話し方は「やさしい」「やさしくない」？</p> <p>・のん太アンケート③「社長さんの話し方は「やさしい」？「やさしくない」？」</p> <p>(6)意見を変えたり変えなかったりした理由を交流する。</p> <p>・意見が変わった人はいますか？</p> <p>・どうして変わったのかな？</p>	<p>・みじかいけど「気づかい」をしているというところはやさしいんじゃないか。</p> <p>・喜怒哀楽って言うように喜んだり楽しいとかも大事にしている。</p> <p>・「ていねい」ではないけれど「気づかい」がある。言葉は短いけれど、その中に思いやりを持っているのかもしれない。</p>	<p>・ワークシートの③に考えを書かせても良い。</p> <p>・子どもたちから出た意見を適宜黒板にまとめる</p> <p>・アンケートへの入力を T3 とともに支援する。</p> <p>・クラス毎に意見をマイクで交換</p>	<p>●【動画⑦】森尾水産の社長さんの録画を流す。</p> <p>・とにかく短く話している。</p> <p>・ですますをつけるときやくにわからなくなる。</p> <p>・喜怒哀楽を入れたり、相手に気づかいをしている。</p> <p>・指名された学級をスポットライト</p>
<p>【まとめ③(草原先生から)】「やさしい日本語」には単に「簡単にする」だけじゃなくて、「相手を思う気持ち」「温かい気持ち」があることも大事そうだ。外国の人とのコミュニケーションでもそれが大切そうだ。</p>			
<p>〈終結:「やさしい日本語」はどこにある? どこにあるといい?〉</p> <p>Q6.身近で使われていそうな「やさしい日本語」を見つけ発表しよう。(5分)</p>	<p>・スーパーマーケット</p> <p>・小学校の中でも使われていないかな</p> <p>・バスとか、みんなが使うもの</p>	<p>・クラス毎に意見をマイクで交換</p>	<p>・指名された学級をスポットライト</p>

6. 資料(後日, 大学から各学校に郵送します)

- ・【資料】東広島市市内の外国人の国別, 「日本語がどれくらい話せますか」の円グラフ (黒板用: A2 横、カラー、児童用: A4 横、カラー)、ワークシート (A4 白黒)

7. 参考になるホームページ

- ・東広島市における外国人市民の状況 <https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/seikatsukankyo/14/2/32851.html>
- ・東広島市サイン等多言語表記ガイドライン <https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/material/files/group/159/tagengoguide.pdf>